

待望の新章、『GOSICK RED』刊行に続き…… 今度の「GOSICK」はBLUE（ブルー）！

大ヒットミステリ新シリーズ・第二弾



GOSICK BLUE

桜庭一樹

B6判 360P 定価・本体 1100円 発売予定：平成26年11月27日

「GOSICK」シリーズとは…

2003年に誕生。ジュブナイルの枠すらも越えた、とびきり魅力的な主人公（図書館塔に君臨する天才美少女と「死神」と渾名される東洋人少年！）と、壮大な歴史観でたちまち多くのファンを獲得した人気シリーズ作品。2011年には2クールの特長アニメが放映され、併せて「幻」と言われた完結編が刊行されて読書界の話題をさらいました。

あまりに完成度の高いグランド・フィナーレを迎えたが故に、続編はありえない、と言われていましたが、2013年、「GOSICK」10周年の年に待望の新作『GOSICK RED』が刊行され、待ち望んでいたファンを熱狂させました。

新天地・ニューヨークへと舞台を移し、さらにパワーアップした物語が展開する「新・GOSICK」シリーズに、ますます目が離せません！

「——新しい世界によろこそ（ウェルカムトゥアメリカ）」

1930年夏、長く苦しい船旅を経て、ついに新大陸にたどり着いたヴィクトリカと一弥。街で出会ったおかしい二人組に連れられ、新世界の成功を象徴する高層タワー〈アポカリプス〉で行われるパーティーになぜか紛れ込むことになったが、華やかなパーティーの最中、突然エレベーターが爆発し、最上階に閉じ込められてしまった！「闇夜で死神と踊ったことはあるか？」死神グリムリーパーを名乗る犯人からのメッセージが示す、事件の真相とは！？タワー最上階のヴィクトリカと、地下の一弥の運命は——！？ヴィクトリカが新大陸の謎に初めて挑む！

Point 1：前シリーズのラストから繋がる「新大陸上陸編」

名コンビが新大陸に降り立ったその日を描く！

Point 2：ヴィクトリカ、新大陸の混沌（カオス）と直接対決

高層タワーの爆破事件と新世界の成功者・女帝ラーガディアをめぐる謎を解け！

Point 3：「ヴィクトリカは…ぼくが守らなきゃ…っ！」

新大陸に着いて早々、離ればなれになってしまったヴィクトリカと一弥の運命は！？

<主な登場人物>

- ◆ ヴィクトリカ・ド・ブロワ…人形と見まがう、銀色の髪的美女。<知恵の泉>と呼ぶ超頭脳であらゆる謎を解く。お菓子が大好物。
- ◆ 久城一弥…ヴィクトリカと行動をともにする、真面目な東洋人青年。ヴィクトリカの世話を焼く。
- ◆ ボンヴィアン…人気アメリカンコミック「ワンダーガール」の作者。大富豪ラーガディアの孫。
- ◆ ラーガディア…煙草産業で財を成した女帝。強烈な個性とカリスマで周囲を圧倒する。

取材に関するお申し込み、お問い合わせは下記担当者までお願い申し上げます。

株式会社 KADOKAWA 角川書店BC 第一編集部 森 亜矢子 (mori-a@kadokawa.jp)

〒102-8078 東京都千代田区富士見 1-8-19 Tel : 03-3238-8555 Fax : 03-3262-7646